

なしの収穫前落果防止に。



# ストップール<sup>®</sup>液剤

植物成長調整剤

## 特長

1. きわめて高いオーキシン作用により、収穫前の落果を強力に防止します。
2. 有袋・無袋いずれの栽培にも安定した効果を示します。
3. 品質低下の心配はありません。

®:登録商標



Bayer CropScience

# ストップール<sup>®</sup>液剤

成分：ジクロロプロップ…4.5%  
毒性：普通物

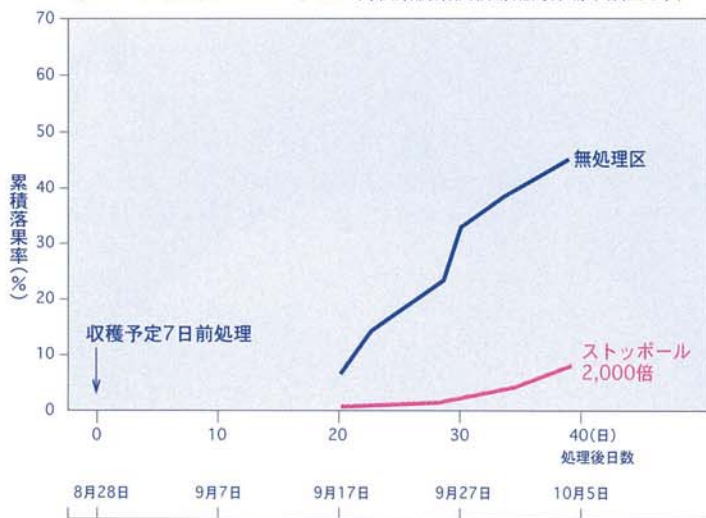
## ■適用と使い方

作物名	使用目的	使用時期	希釈倍率(倍)	10アール当り散布液量(L)	本剤の使用回数	使用方法	ジクロロプロップを含む農薬の総使用回数
なし	赤なし	収穫開始予定日の 14日～7日前	2000～3000	200～300	1回	立木 全面 散布	1回
	青なし		1500～2000				
りんご	収穫前 落果防止	収穫開始予定日の 25日～7日前 (但し、2回散布の場合は 10日程度間隔をあける)	1000～1500	300～600	2回以内		2回以内

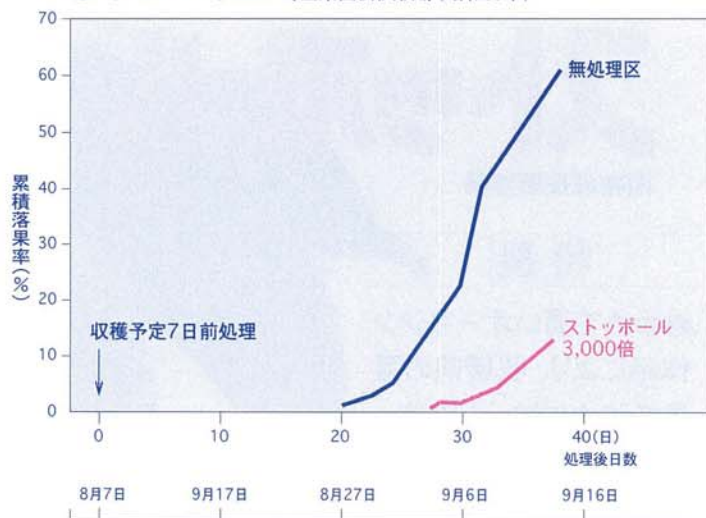
薬液が葉先からしたたり落ちない程度に樹全体にむらなく、いねいに散布してください。

## ■試験成績(抄)

●二十世紀・25年生 高根県農業試験場荒島分場(昭和54年)



●幸水・7年生 埼玉県園芸試験場(昭和55年)



## ■注意事項

- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布して下さい。なお、調製した薬液はその日のうちに使用して下さい。
- 本剤は植物ホルモン剤であり、散布条件によって、薬効、薬害に影響が現れやすいので、他剤との混用は避けて下さい。
- 展着剤は加用しないで下さい。
- 本剤の効果は遅効的で、効果が発現するまでに5～7日かかるので散布適期を失ないように散布して下さい。散布が遅れると効果が劣る場合があります。
- 散布後に降雨があっても再散布しないで下さい。
- なしに使用する場合は、樹勢の弱い樹(特に長十郎)では薬害(早期落葉)を生ずる恐れがあるので使用を避けて下さい。
- 使用の際は薬液が葉先からしたたり落ちない程度に樹全体にむらなく、丁寧に散布して下さい。
- 本剤は一般作物にかかると微量で薬害を生ずる恐れがあるので、他の作物(やまのいもなどの根部を収穫するものを含む)に隣接した場所では使用しないで下さい。
- 本剤散布に用いた器具は使用後できるだけ早く十分洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならぬように注意して下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意して下さい。眼の入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所など関係機関の指導を受けることが望ましいです。

※りんごに使用する場合は注意事項は割愛していますので、使用前にラベルの記載内容をよくお読みください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

バイエルクロップサイエンス株式会社  
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262  
www.bayercropscience.co.jp